

肺がん結核検診で「要精密検査」となられた方へ

精密検査が必要と言われたら・・・必ず精密検査を受けてください。

肺がん結核検診では、肺がん、肺結核以外にも治療を必要とする肺炎や肺気腫・肺線維症・縦隔腫瘍あるいは心臓肥大・大動脈瘤などの病気が見つかる場合もあります。

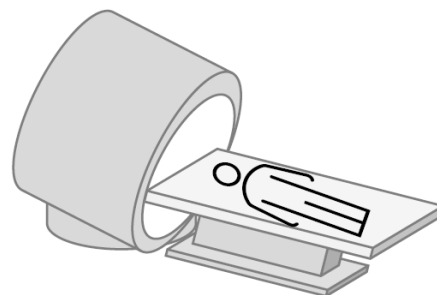
病気を早期に発見し、適切な医療につなげるために、必ず専門の医療機関で精密検査を受けましょう。

主な精密検査法

肺がん結核検診の精密検査は、胸部エックス線検査等の所見に応じ、必要な検査が選択されます。ここでは、代表的な検査方法を紹介します。

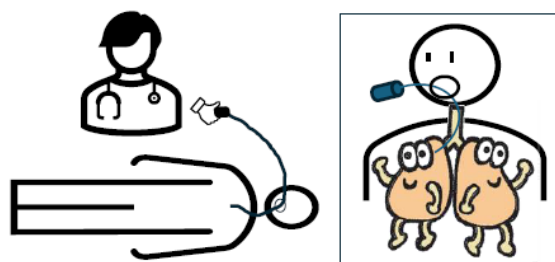
CT検査

体の周囲からエックス線をあてて、体の断面を画像にし、がんの有無や広がりなどを確認するものです。



気管支鏡検査

直径 6mm 程度の気管支鏡を鼻、あるいは口から挿入し、気管支の中を観察するものです。
鼻、あるいは口に局所麻酔を噴霧した後、気管支鏡をゆっくりと挿入し、時々、局所麻酔液を散布しながら観察します。



精密検査・受診に必要なもの

① マイナ保険証等

(精密検査については保険診療となり、自己負担が必要となります)

② 大津市肺がん結核検診精密検査依頼書兼結果票

③ 受診病院の診察券(お持ちの場合のみ)